



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 馬場 一美
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

コロナ禍でも口腔がんの進行は待ってくれません

口腔腫瘍外科 診療科長 嶋根 俊和

毎日、新型コロナウイルスのニュースが報じられ、あっという間に10か月が経過してしまいました。この間には緊急事態宣言、自粛、不要不急、3密、新しい生活様式などなど様々な制限がなされてきました。当院でも3~5月頃は、患者さんの数も少ない状態で不急の手術は延期の方針としていました。しかしこの期間でも口腔がんの患者さんは待機手術にできないため、感染防御をフルに行いながら手術してきました。現在では、大学でPCR検査が可能となり入院前に全例検査し入院手術を行っています。

最近、口腔がんの患者さんが増えていますが、少しこれまでと違ったところがあります。それは少しステージの進んだ患者さんが多くなっていることです。患者さんと話してみますと「年明けぐらいから変だったけど、コロナで行けなかった。」「3月ごろから変だったけど緊急事態宣言で行けなかった。」「病院に行くとなると感染するかもしれないので行かなかった。」などの返答が

ありました。やはり受診が遅れた分、進行している患者さんが多く、口腔内の切除だけではなく、頸部リンパ節の手術や再建術が必要になることが多くなっています。



新型コロナウイルスの蔓延は感染症だけではなく、経済も悪化させているのは周知の事実ですが、がん治療にも悪影響を加えているように感じてしまいます。新型コロナウイルスが流行していても口腔がんは減りませんし、進行は待ってはくれないので、一定の患者さんは発症してしまうのが現状です。口腔がんには早期発見、早期治療がその後の機能に大きく影響してきますので、何か症状があった場合には診察が必要ですし、定期健診も重要となります。コロナ禍にあっても口腔がん診療は不要不急ではありません。我々も感染防御に十分注意しながら診療を続けていきますので、口腔がんの早期発見、早期治療にご協力をよろしくお願いいたします。



- P1 巻頭言 コロナ禍でも口腔がんの進行は待ってくれません
 - P2 診療科紹介 口腔腫瘍外科
 - P3 患者さんからのご意見・ご要望
 - P4 病院長表彰がありました
- 編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

診療科紹介：口腔腫瘍外科

口腔腫瘍外科 講師 齊藤 芳朗

こうくう
口腔（お口）は生活するために必要な【食べる】【しゃべる】や顔の形態に關与する重要な部位ですが、この口腔にも様々なできもの（腫瘍）が発生します。私たち口腔腫瘍外科は主に口腔に発生する良・悪性のできものに対し専門的な治療を提供しています。

スタッフは頭頸部外科医である嶋根俊和を科長とし、他歯科医師6名で治療にあたっています。また進行している口腔がんなどは、頭頸部外科医と連携し昭和大学病院頭頸部腫瘍センターとして診療にあたっています。

口腔がんは、がん全体からすれば発生率は約1～3%であり、それほど発症率が高いがんではありません。それゆえに認知度も高くないのが現状です。しかし最近では、口腔がんに対する認知度は少しずつ広がっているように見え、口腔がんを気にされ来院して下さる患者さんが増えています。初期の口腔がんは痛みなどの自覚症状がなく、口内炎や歯周病などに類似していることから気づかないことが多いです。ただ内臓のがんとは異なり、セルフチェック可能な場所であり、患者さん自身が確認することでがんの発見が可能です。もし、治らない口内炎、歯周病、腫れ、ただれなどがあればご相談いただければと思います。

口腔がんの治療は手術、放射線、化学療法を組み合わせで行っていきます。その中でも手術療法はがんを治す治療として主に行われています。早期がんでは術後の強い後遺症が残ることはほとんどありませんが、がんが進行すると大きな手術をすることで術後に【食べる】【しゃべる】などの機能が低下してし

まうことや、審美的障害が残ってしまうことがあります。当院では、患者さんの体からがんを取り除くことはもちろんのこと可能な限り機能面や審美面も配慮した治療を提供しています。また、術後のリハビリや欠損した部位に対する補綴（義歯）処置も行っています。口腔リハビリテーション科と連携して、治療によって損なわれた機能を最大限に活かせるように、術前から一貫した治療をしています。

口腔がんは早期発見、早期治療を行うことが重要です。コロナ禍でも患者さんはもちろんのこと、近隣医療機関の皆様におきましても、口腔内で心配な症状がございましたら当科へご相談いただければと思います。



口腔がんの再建手術



昭和大学頭頸部腫瘍センター

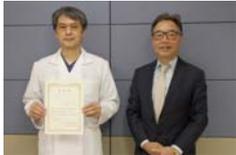
患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善等
<p>医師の感染予防対策について</p> <p>コロナ第二波の時は、マスク・フェイスシールドの姿に先ずは安心いたしました。</p> <p>が、今回二波を凌ぐ勢いの中、マスクだけの姿に高齢者は恐怖を覚えております。</p> <p>安心して治療を受けるためにも、マスク+αをお願いいたします。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。配慮が足りず申し訳ございませんでした。</p> <p>フェイスシールドは、飛沫が発生する処置(歯を削るなど)の際、歯科医師・歯科衛生士を飛沫の暴露から守るために着用を義務付けておりますが、歯科治療は外科的な側面が大きい故、フェイスシールドにより円滑な治療の遂行に影響を及ぼす場合がございます。</p> <p>マスク+ゴーグルを着用していれば、仮に患者さんが新型コロナウイルス感染症に感染していたとしても、濃厚接触にあたらなとの保健所の確認もとれているため、マスク+フェイスシールドまたはマスク+ゴーグルでの対応とさせていただきたく存じます。</p> <p>患者さんが安心して治療できるよう、これまで以上に徹底して指導を行い、万全の感染対策を行うよう努めて参ります。</p> <p>(感染管理室)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>診療時の感染防護スタイル (歯科医師)</p> <p>感染防護アイテム</p> <p>上段右 ビニール製防護エプロン(ピンク)</p> <p>下段左 マスクと一体化したフェイスガード</p> <p>下段右 医療用ゴーグル</p>	<p>感謝のお手紙ありがとうございます。</p> <p>また、改善までお時間がかかってしまい申し訳ございませんでした。</p> <p>今後とも患者さんが安心して通院できるよう環境整備に尽力いたします。</p> <p>(事務課)</p> <div style="text-align: center;">  <p>新しく設置したバス停ベンチ</p> </div>
<p>バス停のベンチ全体が爽やかに、美しく一新されていることに驚くとともに、快適に利用させていただきました。ご関係の皆様には、ご苦労されたことと存じます。心より厚く御礼申し上げます。</p>	

病院長表彰がありました

昭和大学歯科病院の運営に多大なる貢献をされた職員に対し、病院長より表彰状の授与・記念品の贈呈が行われました。

本年度は新型コロナウイルス感染症対策に尽力した院内感染予防対策委員会、ICTチーム、



この度、このような名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。受賞した委員会・新型コロナ感染対策WG・ICTチームを代表して御礼申し上げます。

今回の受賞は決して私たちだけの功績ではなく、病院長をはじめとした病院職員の皆様のご尽力のお陰であると実感しております。まだまだ気の抜けない状況が続きますが、患者さんが安心して受診できるよう、感染対策に尽力して参ります。院内感染予防対策委員会、ICTチーム



この度はこのような素晴らしい賞を頂き大変ありがとうございます。大学院生の頃から高齢者歯科学講座で研究ならびに診療の貴重な経験をさせていただいております。現在育児と両立しながら責任ある仕事をさせていただいているのも、佐藤教授をはじめ諸先生方のお力添えのおかげです。コロナ禍で大変な時ではありますが、病院の皆様と協力し、少しでも歯科病院の力になれるよう、今後も精進してまいります。

高齢者歯科 大澤 淡紅子

新型コロナウイルス感染症対策ワーキンググループの方々をはじめ、障がい者歯科・嘉手納未季先生、高齢者歯科・大澤 淡紅子先生、手術室・高木 久美子さんが受賞いたしました。



この度、このような光栄な賞をいただき誠にありがとうございます。この場をお借りし日頃からお力添えいただいております皆様に深く感謝申し上げます。

今後も障がいのある方が歯科を受診しやすいような歯科医療体制を検討し、地域と連携していきたいと思っております。また、歯科病院および障がい者歯科の発展のため常に精進して参ります。障がい者歯科 嘉手納 未季



この度は名誉ある「病院長賞」を頂戴し、とても光栄に思っています。この栄誉は個人の力ではなく、いつもご助言いただいている歯科麻酔科の先生方、激務の傍ら常に我々看護助手を気遣ってくださる看護師の皆様のお陰であると実感しております。

これからも沢山の皆様のお力添えをいただきながら、目配りと気配りができた仕事を心がけて頑張ります。

株式会社リジョイスカンパニー 高木久美子

事務課管理係

編集後記

2020年は自粛の重い空気や悲しいニュースがたくさん流れ、医療従事者として皆さんそれぞれが戦った1年間であったと思います。しかしそんな中でも、贈られた支援物資や寄せられたメッセージなどに励まされ、私たちもさまざまな方に支えられているということに改めて感じられた1年でもありました。今の一人一人の取り組みが2021年を明るく照らすことを願うばかりです。 (C.Y)

